



兵庫県立但馬やまびこの郷





活動プログラムについて

兵庫県立但馬やまびこの郷は、学校に行きづらい子どもたちとその保護者を応援する施設です。兵庫県北部の但馬に位置し、豊かな自然環境の中、さまざまな体験を通して、子どもたちの社会的自立をめざしています。

当所では、宿泊体験を年間35週行っています。まずは、日帰りでの見学・体験活動を行い、そして、2泊3日、4泊5日と少しずつ活動日数を増やしていきます。日帰りでの参加を繰り返すこともできます。また、施設見学のみを行うこともできます。

1日目 (13:30~)

出会いの集い

子どもたち、保護者、スタッフ全員が集まり、出会いの集いをします。始まる前はカードゲームなどをして少しずつ仲良くなっていきます。



お互いを知ろう

宿泊するみんなのことを知ることができるゲームや野菜の収穫などをします。収穫した野菜は食材として使います。



1日(日帰り)の利用ができます。

2日目

料理を作ろう

協力しながら昼食を作ります。飯ごう炊飯や餅つきにも挑戦します。



地域と交流しよう

地域の方を招いたり、地域に出かけたりします。田植えや動物とのふれあい、ものづくり体験などをします。



2泊3日の人は3日目の夕方に帰ります。

1日(日帰り)の利用ができます。

3日目

自分で選ぼう (製作活動)

プラ板、木工工作など自分がしたいことを選び、時間いっぱい作ります。



自分で選ぼう (スポーツ活動)

ドッジボールやバドミントン、ボウリングなど、さまざまなスポーツができます。



4日目

遠くへ出かけよう

マイクロバスに乗り、お弁当を持って出かけます。磯観察、ハイキング、スケートなど四季折々の活動を行います。



5日目 (~12:00)

ふり返し・清掃

活動のふり返しをしたり、使った部屋の掃除をしたりします。



お別れ会

4泊5日の子どもたち、保護者、スタッフ全員が集まり、お別れ会を行います。



★昼食を食べ、13:00頃帰宅します。

やまびこタイム

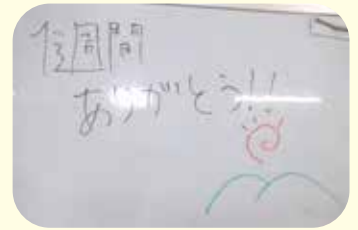
活動の合間や夜に、卓球やビリヤード、カードゲームなどをして過ごします。



学習タイム

夕食後に学習タイムがあります。やまびこの郷にあるプリントや持参した問題集などをします。





子どもたちより

Q 来てみようと思ったきっかけは？

- ホームページを見て「楽しそうだな」と思った。
- 「動かなあかん」と思っていたときに話を聞き、「いい機会だな」と思った。

Q やまびこの郷のいいところは？

- 子ども、スタッフ関係なくみんなと楽しく過ごせて安心できる。
- 学校に行きづらい子ばかりだから、同じ悩みなどが話せる。

Q やまびこの郷に来て自分が変わったなと思うことは？

- やまびこの郷に来る前は、あまり外に出なかったけど、買い物に行ったり、遊びに行ったりするようになった。
- 自分に自信がもてるようになった。



やまびこの郷卒業生より

やまびこの郷を利用する前は、家で布団にくるまっていた。他の子が頑張っているのに、できない自分にあせて、自分がやらないといけないことは分かっているけれどもできなくて…。ひとりであるのは辛いけど、誰かに見られるよりは楽でした。今は、やまびこの郷や高校での経験から、誰かを幸せにできる仕事につきたいと思い、大学で勉強をしています。

当時は本気で自分はダメな人間だと思っていました。朝起きること、制服を着て準備して学校に行くことなど、他の人が当たり前に行っていることが自分には何でできないんだろうと思っていました。不規則な生活で家にこもりがちになり、体力が落ちてしまい、半分自分の人生を諦めていた気がします。そんな状態の自分を受け入れてくれる方々に支えられ、価値観が変わり視野も広がりました。勇気を出して一歩踏み出して良かったと思います。



保護者の方より



Q 利用しようと思った理由は何ですか？

- 「家族以外の誰かと接してほしい」と思った。
- 家にこもりがちだったので、「学校でも家でもない居場所になる」と思った。
- 「少しでも同年代の子どもたちと関わる経験をしてほしい」と思った。

Q どのようにお子さんに勧めましたか？

- 「参加しなくてもいいから、ちょっと出かけてみない？」など、軽い誘い方で話をした。
- 行けそうなタイミングをうかがいつつ、本人の気持ちが「行ってみようかな」となるのを待った。
- 事前に私だけで見学・相談に行った。施設を見たりスタッフから話を聞いたりしてとても安心できたので、そのことを子どもに伝え、一緒に行った。

Q 利用してからどんな変化がありましたか？

- 笑顔が増えたり、心がすごく安定したりした。
- 来るたびに前向きになり、元気になっていった。
- 心が通う友人たちに恵まれた。
- 利用前と比べると、家族と一緒に外出することが増えた。



★これから利用を考えている方へメッセージをお願いします

- 初めて来たときに「ここは、子どもの居場所になるかもしれないな」と思える安心感がありました。何かに無理に参加させられることはないし、たとえ参加できなくても、「参加しない」、「見ている」という気持ちを表せたことを認めてもらえることにホッとします。
- 中学卒業後もやまびこの郷の友だちと連絡し合ったり、遊びに行ったりして、支え合っています。そして、やまびこの郷での心の貯金が、高校に進学してからも支えになっていると思います。

大切にしていること

居場所づくり

絆づくり



活動のキーワード

寄り添う

丸ごと本人の気持ちを受けとめるようにしています

意思を尊重する

本人の意思を尊重して、できるだけ自己選択・自己決定し、主体的に取り組めるように支援しています

認める

結果だけでなく、その過程を大切に、小さな変化も見逃さずに認めるようにしています

つなげる

子どもたちがお互い（自分と友だち）の良さに気づき合い、仲良くなれるように支援しています



学校や教育支援センター等とも連携しながら、個に応じたきめ細やかで継続的な支援を行っています。また、看護師やカウンセラーもスタッフにおりますので、ご相談ください。



ご相談ください



Q 昼夜逆転していて、朝、起きられないかも・・・。

A 途中参加や当日のキャンセルも可能です。お子さんの体調や気持ちを第一にしてください。

Q 集団に慣れるまで時間がかかり、みんなが活動している場所に入れるか心配しています。

A スタッフがお子さんと過ごし方を相談し、そのときのお子さんの気持ちにあった過ごし方を決めます。例えば、活動場所に行き後ろから見る、しばらく別室で過ごし「参加してみよう」と思ったタイミングで活動場所に行く、などがあります。

Q 食物アレルギーと偏食があり、食事のことを心配しています。

A 食物アレルギーについては対応をしていますので、お知らせください。苦手なものについては、減らしたり取り除いたりして、お子さんが食べやすいようにしています。少食の場合、お子さんが食べられる量に減らしています。

Q いきなり4泊5日の宿泊体験活動に参加できるか心配です。

A まずは、日帰り体験活動に参加していただき、その後、2泊3日の宿泊体験活動、4泊5日の宿泊体験活動と徐々に日数を増やしていきます。宿泊体験活動に不安がある場合、火曜日か水曜日の日帰り体験活動にだけ参加することもできます。

Q どのような交通手段がありますか。

A 自家用車か電車、高速バスがあります。
自家用車の場合、駐車場があります。
電車の場合、竹田駅（播但線）か和田山駅（山陰線）まで送迎します。
高速バスの場合、和田山駅（山陰線）まで送迎します。

Q 申し込むにはどうしたらいいですか。

A まずは、当所にご連絡ください。お子さまに合った利用について、一緒に考えていきましょう。



みなさんが、ちょっとでも元気になれるきっかけ
になれば嬉しいです。

兵庫県立但馬やまびこの郷パンフレット

発行日 / 令和7年3月

発行 / 兵庫県立但馬やまびこの郷

兵庫県朝来市山東町森字向山 3045-101

TEL / 079-676-4724 FAX / 079-676-4721

URL / <https://www.t-yamabiko.asago.hyogo.jp/>